

## ロータリー米山記念奨学金学生の推薦にあたって

国際支援課

本奨学財団は、毎年大学担当者向けの説明会を開催しており、説明会にて選考にあたっての注意事項等案内がありましたので、以下にまとめております。応募にあたっては、学生だけでなく、指導教員にも趣旨をご理解いただきますようお願いいたします。

### <推薦>

以下に該当する学生の推薦は控えてください。

#### ①月1回以上の例会に参加できない方

※月1回以上の世話クラブ例会やイベントに参加し、これらの交流を通じて成長しようとする努力をすることができる者が求めています。

※申請書に都合の良い/悪い曜日を書く欄があるので、出来るだけ広めに書いたほうが良いとのことです。絶対に出席不可能な曜日だけを記載する等、この欄は慎重に記載をお願いしたいとのことです。

#### ②長期の留学・調査等により行事に参加できないことが決まっている方

#### ③奨学金は受給したいが、行事には参加したくない方

#### ④学業不振、単位不足等により留年、退学のおそれがある方

#### ⑤国費、母国奨学金、他奨学金に申請しロータリーを辞退する可能性がある方

### <応募書類>

① 月1回以上の定例会への出席が奨学生の義務だということを、学生・指導教員共に認識しておいてください（やむを得ない欠席の場合は、文書による理由書の提出を求めています）。定例会で奨学金を手渡しします。交流行事に積極的に参加できる学生を採用するとのことです。また、奨学金終了後も交流を続けることが期待されています。なお、行事等について、必須ではありませんが指導教員に対しても参加依頼があります。

② 成績や経済状況が優先ではありません。志望動機や推薦状に経済的に困窮していると書くケースが見られますが、経済状況は考慮されません。応募者の長所や短所といった、人柄が分かるような事項を記載してください。向学心あふれる、日本と母国の架け橋となる学生の推薦を希望されています。

③ 申請書は必ず日本語で本人が手書きしてください。申請書の文字の巧拙も審査対象となります。

④ 研究計画書には、自分の学んでいること、研究していることをどう社会に役立てたいかを書いてください。

⑤ 推薦状は必ず指導教員が作成してください。学部生などで指導教員が決まっていない場合はそれに準ずる方、指導的立場の方が作成してください。以前、面接において、推薦

状を書いてくれた先生との関係を聞いたところ「あまりよくわからない」との回答があり困惑したケースがあるとのことでした。

<面接>

- ① 今年の面接は、2022年12月15日に開催される予定です。
- ② 人柄（誠実さ、身だしなみ、態度）が大きく考慮されます。面接は受付から始まっています。過去には、受付の態度が悪く不採用となったケースもあったそうです。
- ③ 過去に、面接時における自己アピールとして、自分の作品や研究成果など持ってくる学生がいたが、専門性が感じられて大変面白かった、との意見がありました。誰にでもわかりやすい説明をすることが高評価につながるようです。
- ④ ロータリー米山記念奨学財団がどのような財団なのか面接で聞かれることもあります。財団についてある程度の知識を備えて面接に臨んでください。ただし、ロータリーに関する知識を覚えるのではなく、ロータリーの事業の趣旨を理解することが重要です。
- ⑤ 日本語である程度の日常会話ができることは必須です。日本留学の明確な意図・異文化理解・コミュニケーション能力を重視されます。

<採用後の注意事項：指導教員>

指導教員や学校関係者に対し、採用後オリエンテーションへの参加が依頼されます。どなたも参加できない場合は、内定を取り消すこともあるとのことでした。

<2022年度採用奨学生の今後の予定（参考）>

2022年9月3日～4日 米山研修旅行（参加必須）

9月10日～11日 地区大会@高輪グランドプリンスホテル

10月23日 ホリデーイベント

2023年3月4日 期間修了式@池袋